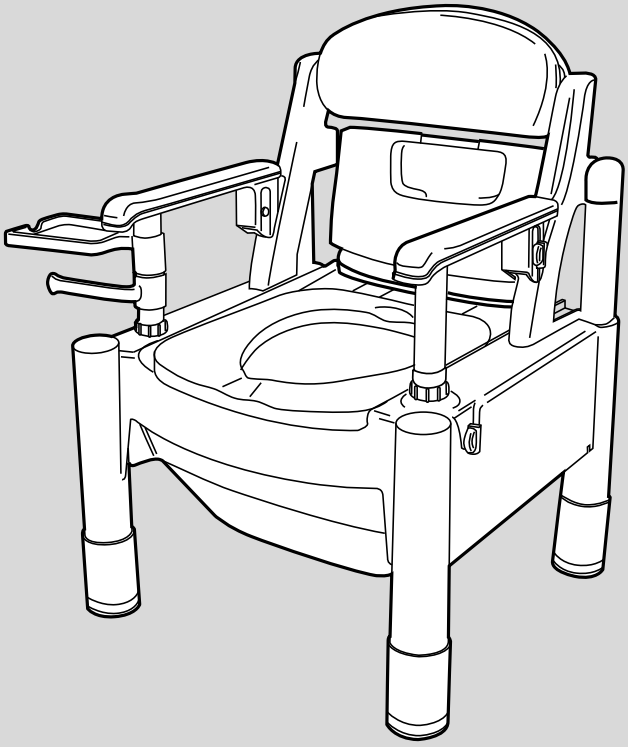
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

ポータブルトイレ
KX-N 取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびはポータブルトイレKX-Nをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ・特長	2
使いかた	3~5
お手入れの方法	5･6

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⚠注意 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

❗ 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

🚫 してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 注意

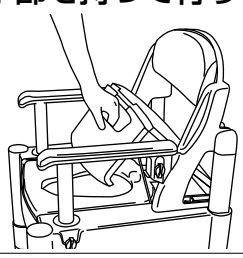
改造や分解をしないこと
本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。

背もたれやひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

補高用脚が4本とも本体が安定する高さに設定されているか確認すること
補高用脚を固定ナットでしっかり止めているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

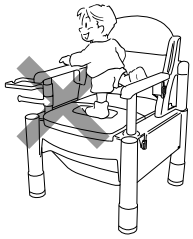
❗ **使用者が用便等の際、自分自身の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと**

上蓋の開閉は、必ず持手部を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。

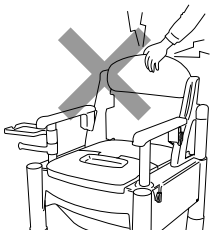


必ず平たんな場所で使用すること

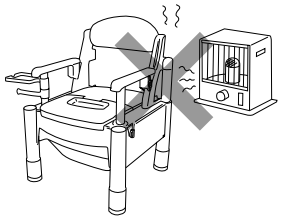
上蓋やひじ掛けの上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。



背もたれを手すりがわりに持たないこと
転倒し、けがの原因になります。



🚫 **直射日光が当たる場所や火気に近づけないこと**
火災や変形の原因になります。

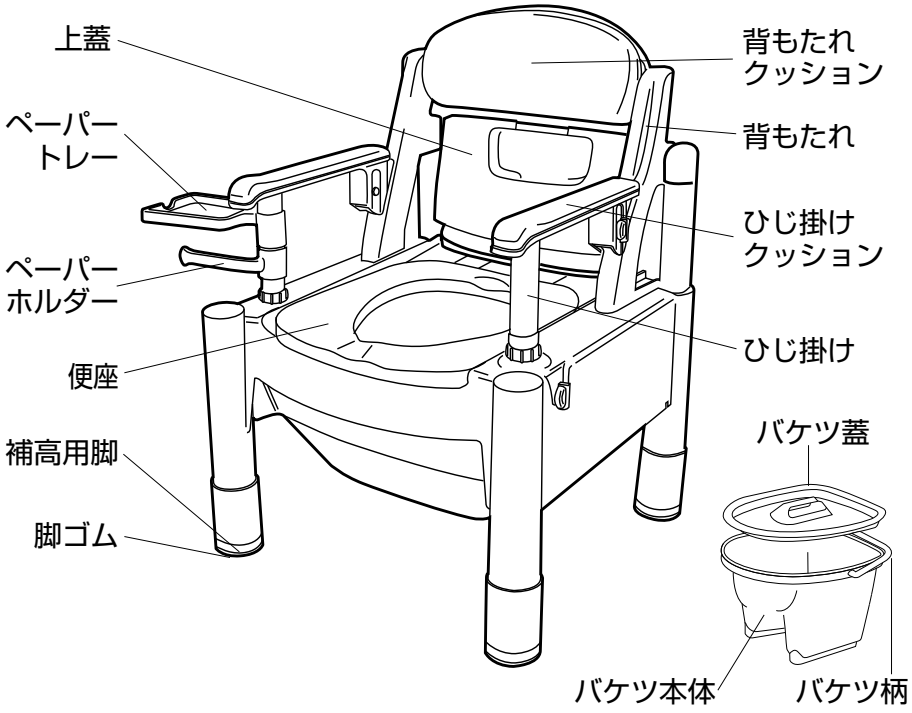


子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

体重が100㎏を超える方は使用しないこと
本体が破損する恐れがあります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。

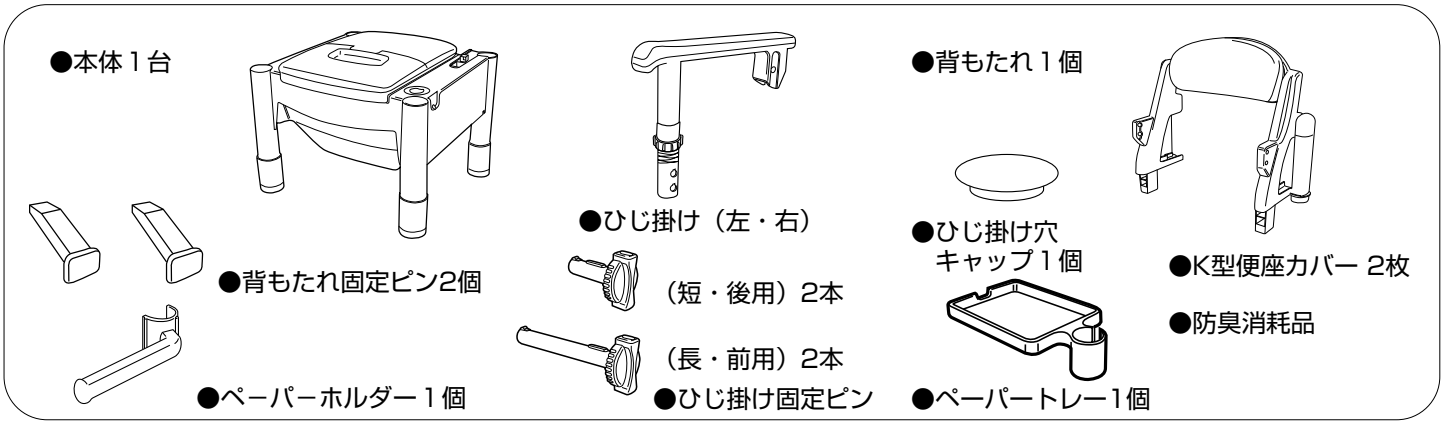
各部のなまえ



■仕様

品名	ポータブルトイレ KX-N		
材質	本体・上蓋・便座・バケツ・ひじ掛け・背もたれ・座面裏カバー・ペーパーホルダー・ペーパートレー 補高用脚		ポリプロピレン
	ひじ掛けクッション		エラストマー
	脚ゴム		
	背もたれクッション		ウレタンフォーム(クッション材) 合成皮革(張り材)
寸法	62×59.5×高さ79.5～86.5㎝ (便座までの高さ：35～42㎝)		
重量	約10.5㎏		
バケツ容量	10ℓ		

■部材・付属品



廃棄上のご注意 おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

特長

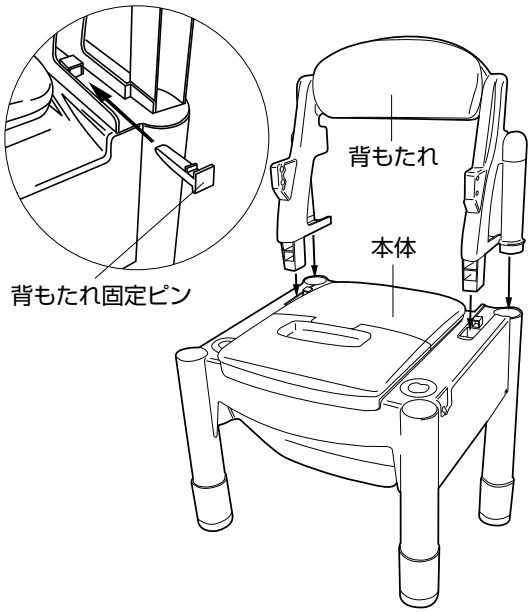
●上蓋は手首を返すことなく開閉できるユニバーサル構造の折りたたみ式。
●便座までの高さを症状・体形に合わせて35～42cmに調節可能。（無段階調節）
●本体側面にも足を入れるスペースがあり、側方介助する際に腰に負担がかかりにくい親切設計。
●ひじ掛けは、高さを２段階に調節可能。（便座から21cm、24cm）
●ひじ掛け間の幅を２段階から選択可能。（内寸40cm、42.4cm）
　上体の不安定な方や、本体の安定性を増したい場合はひじ掛け内寸を狭くして使用してください。
●ひじ掛けは側面からのロックピンと固定ナットで固定されており、とても簡単に取り外せ横からの移乗も可能。
●背もたれクッションは長時間座っても疲れにくいソフト素材を使用。
●便座は座ると自然に足が開く三次元形状で、前方は大腿部が痛くないようゆったりと座れる広さを確保し、ゆっくり閉まるオイルダンパーを採用。（抗菌加工）
●ペーパートレーには濡れティッシュや重ね置きしたトイレットペーパーを置くと便利。
●本体は後方にも倒れにくい設計で安心。
●背もたれにハンドサポートがついているので、ひじ掛けを外した場合でも移乗が楽。
●バケツの下に汚水受けを設けた二重構造なので、飛散した小水を便器外に漏らさないクリーン構造。
●ペーパーホルダーはひじ掛けの支柱にお好みの角度で取りつけ可能。

使いかた

組立て方法

1 背もたれを固定する

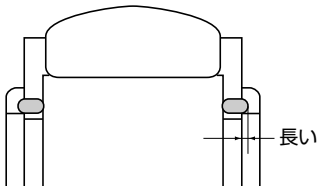
①背もたれクッションのある方を前面にして取付穴にはめ込みます。
②背もたれの両支柱の後側から背もたれ固定ピンで、左右2ヵ所しっかり固定します。
※背もたれを取り外す場合は、逆の手順で行ってください。

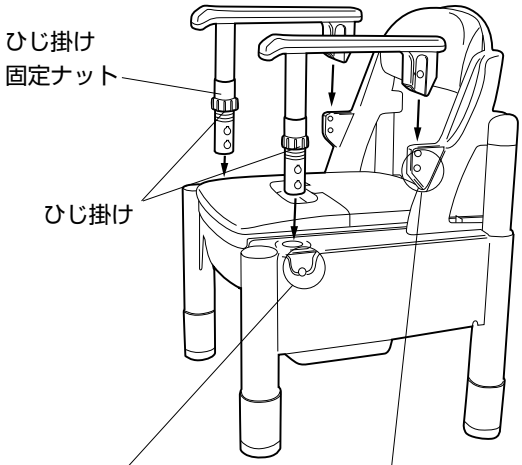


> ⚠ 注意
> **背もたれ固定ピンで背もたれを必ず固定すること**
> 背もたれが外れ、不安定になり、けがの原因になります。

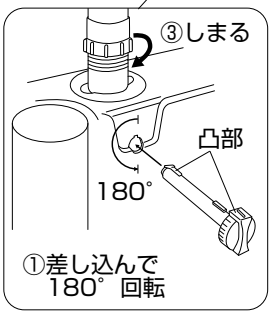
2 ひじ掛けを固定する

ひじ掛けの高さは、2段階（3cm間隔）調節できます。
ご使用になる方の症状や状況に応じて、ひじ掛けの取りつけを行ってください。
ひじ掛けは、図の長い方を外側にしてはめ込みます。

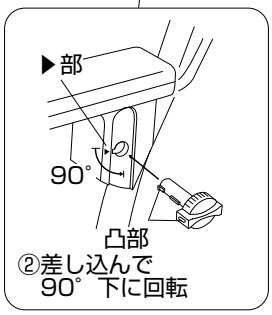




〈ひじ掛けの固定方法〉
①ひじ掛け固定ピン（長・前用）
凸部を上にして差し込み180°回転して固定します。
②ひじ掛け固定ピン（短・後用）
ひじ掛けの▶印に、固定ピンの凸部を合わせて差し込み、90°下に回転して固定します。
③ひじ掛け固定ナットを締め込み、ひじ掛けを固定します。



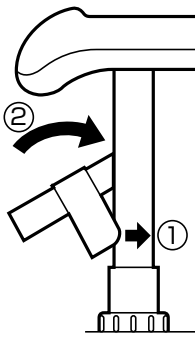
ひじ掛け固定ピン
（長・前用）



ひじ掛け固定ピン
（短・後用）

●座位のサポートには、ひじ掛けを図の長い方を内側にしてはめ込むと、ひじ掛け内寸が40cm（42.4cmから）になり、左右への傾きを防げます。

〈ペーパートレーをつける〉
ペーパートレーをひじ掛け左右のどちらに固定するか決めてください。
ペーパートレーを固定する側のひじ掛けの支柱に横からはめ込んでください。



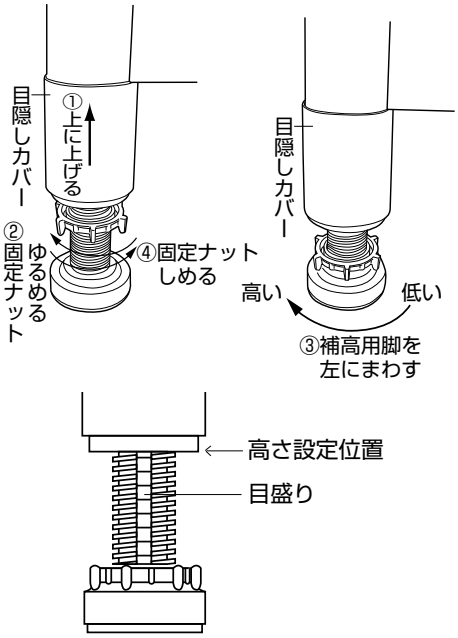
①ペーパートレー下部の広くカットされている部分をひじ掛けのパイプに押し込みます。
②ひじ掛けのパイプにペーパートレーをセットします。

> ⚠ 注意
> **上蓋を閉める際に、ペーパートレーに上蓋が乗り掛からない範囲で、ペーパートレーを使用すること**
> 上蓋が乗り掛かるとペーパートレーが破損します。

使いかた

3 高さの調節をする

必要に応じて 4 本の補高用脚をそれぞれ左に回して高さを調節してください。
①まず補高脚目隠しカバーを上にスライドさせます。
②固定ナットをゆるめます。
③3本の補高用脚を左に回しながら目盛りで調節し、残りの１本はトイレを使用する場所で安定感を確認しながら調節します。
④補高用脚は固定ナットでしっかり止めてください。（便座までの高さ：35～42cm）
※本体を箱から取り出した時、便座までの高さを最低の35cmに設定してあります。ご使用される方の体格・症状に合わせて42cmまで調節できます。
※補高用脚には１cmごとに目盛りがついていますので、脚の高さをそろえる目安にしてください。

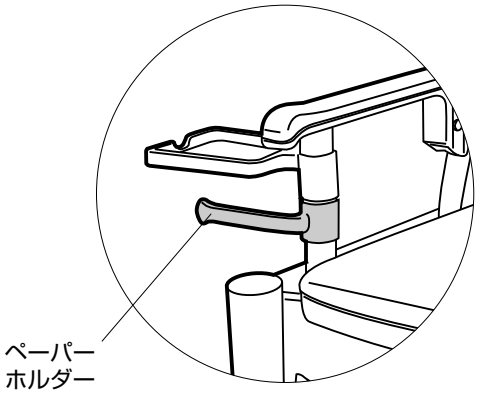


注意

補高用脚は本体が安定する高さに固定され、固定ナットでしっかり止められているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

4 ペーパーホルダーをつける

ペーパーホルダーはひじ掛けの支柱にお好みの角度で取りつけることができます。
使いやすい位置に取りつけて、トイレットペーパーをセットしてください。
※ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものは掛けないでください。



前準備

①付属の便座カバーをつける（上蓋にはカバーをかけないでください。）
便座は特殊形状をしているので、一部を除いて市販の便座カバーは使用できません。K型便座カバーを使用してください。
取りつけかたは、付属している便座カバーの取扱説明書を参照してください。
（替え用便座カバーをお求めの際は、製品を購入された販売店でお買い求めください。）

②防臭効果を高めるために
バケツに水を約2ℓ（バケツ内側の2と表示してある線まで）入れ、付属の防臭消耗品を適量入れてください。ポータブルトイレ用防臭剤や防臭液、防臭錠、消臭剤フォームタイプもご使用いただけます。（別売品）

※便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。
あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売品）を敷いておくと、よりお部屋の清潔さが保たれ安心です。

使いかた

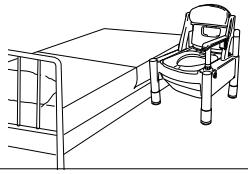
使用方法

①上蓋を開け、バケツの蓋を外して使用します。
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレットペーパー以外のものは入れないこと。
トイレで処理する際、詰まる原因になります。

使用後の処理方法

①汚物の処理について
ポータブルトイレからバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。

ベッド等から移乗する場合。
ベッド側のひじ掛けを外し、その位置にひじ掛け穴キャップを取りつけてお使いください。尚、移乗後、上体の安定を保ちたい場合は、ひじ掛け穴キャップを外し組立て方法の2にしたがい、ひじ掛けを固定してください。
※ひじ掛けは、どちらか片方を必ず取り付けてお使いください。



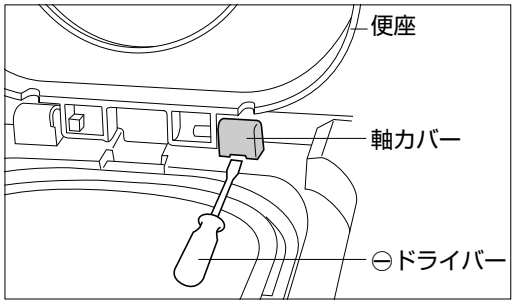
お手入れの方法

便座の分解・組立て方法

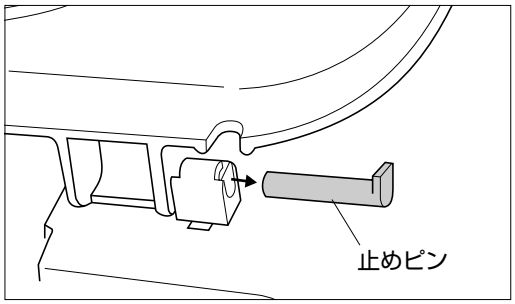
●お手入れや便座の取りかえを行う時

1 上蓋を開け、便座を上げる

2 軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げる

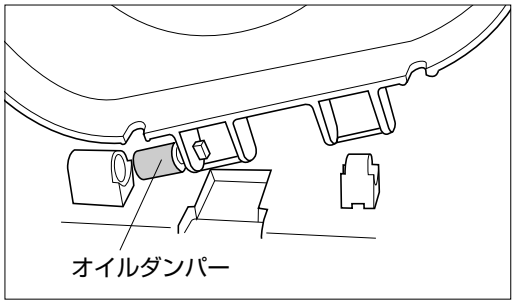


3 止めピンをぬき、便座を軸受けから外す



4 最後に受け板の軸穴からオイルダンパーをぬき、便座を分解する

（オイルダンパーが軸受に残った時は、4の作業はいりません）
※組立てる場合は、4から逆の手順で行ってください。



お手入れの方法

1 普段のお手入れは

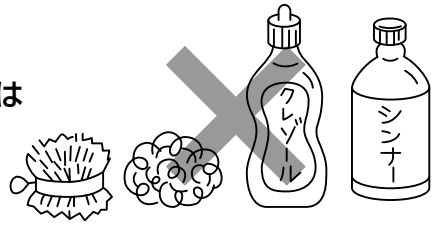
いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

2 少しひどい汚れには

便座・受け板は、本体から取り外すことができます。汚れがひどくなった時は、便座の分解・組立て方法（P.5）の手順に従い取り外してください。

⚠ 注意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。



●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

10.06

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル **0120-86-7735**

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910559-1